

市民の声を聴く機会①

生涯学習と生涯学習センターに関する市民対象のアンケート調査結果報告

小山市教育委員会 生涯学習課

はじめに

小山市立生涯学習センターの今後の在り方に関する調査の一環として「市民の声を聞く機会」を設け、市民向けの公開フォーラムとアンケートを実施しました。アンケートは市内の各公民館、生涯学習センター並びに各市民交流センター、まちなか交流センターに紙（筆記式）による記入票を配置するとともに、オンラインサイトからの回答も可能としました。

概略

アンケートは実施期間を令和4年5月15日～6月15日とし、「生涯の学び」についての質問項目と「小山市立生涯学習センターのあり方」に関する質問項目とに分けて、市民等がどのような学びを求めているかを問いました。

	設問数		設問概略	
おもて面	第1群	2問	生涯学習センターについて	利用頻度と手段
	第2群	1問		各催事の参加経験の有無
		4カ所、各2問		各部の利用実績と感想
		1問		センターの魅力
うら面	第3群	2問	生涯学習について	学びたい理由、学ぶ理由
		1問		充実してほしい情報
	第4群	1問		生涯学習について
		1問、自由記述		お気に入り点
		1問、自由記述		期待と提案
	第5群	4問		フェイスシート

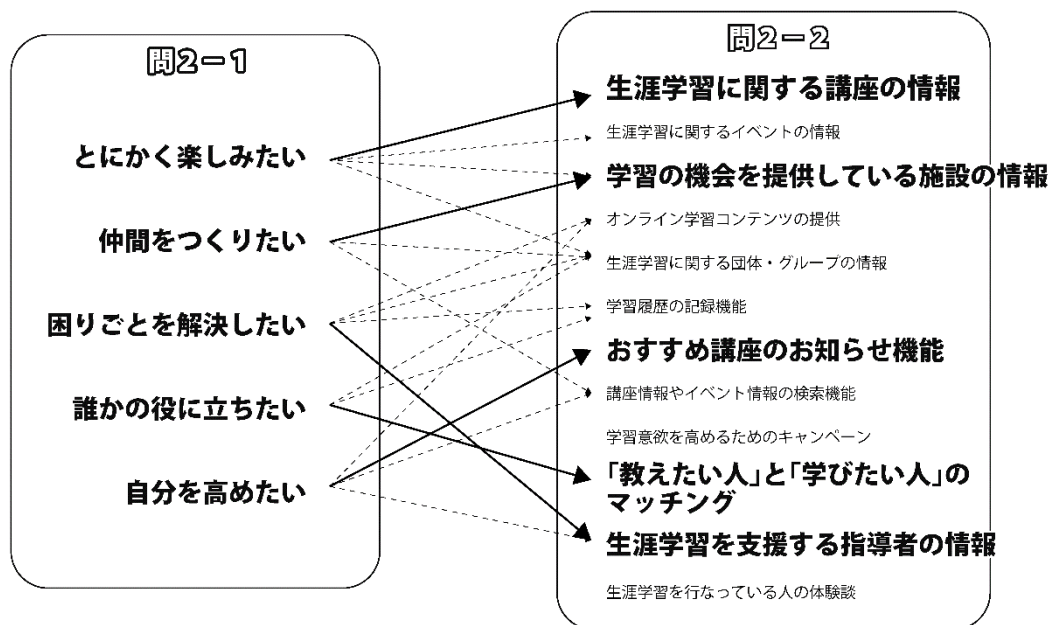
前半（おもて面）は小山市立生涯学習センターの使い方について問い、利用頻度、利用における交通手段、またそれぞれの場所に対する利用実績や気づいたことを回答できるようにしました。

後半（うら面）では、回答者が現時点で必要とする学びや将来に向けてどういった事柄を学びたいかを回答する内容になっていて、自由記述の質問も2点、「生涯学習センターの良いところ」についてと、全体に対する「総合的な回答を行う質問」とを用意しました。これらに関しては、計量的な評価よりも個別的または具体的な事柄を丁寧かつ広く集めたほうが参考すべき情報が得られるのではないかと考えたものです。最後にフェイスシート（年齢や家族構成など個人的な質問項目）を設け、回答者の属性を絞る質問をしています。

回答票の集約結果

1ヵ月間の募集期間で計269通の回答を得ることができ、得られた回答を集計した後、回答者の属性別（男女の別であったり、年代の別であったり等のことを指します）の母数を補正する形で簡単な分析を行いました。

個人名など個人情報が一切ない形で回答票を受け取りましたが、各回答は1票ずつ管理され、そのことにより、とある設問の回答と別の設問の回答とを結びつけることができます。すなわち、ある質問の回答結果一つ一つの回答項目を「選んだ」か「選ばなかった」かによって別の質問の回答を掛け合わせによる類別をしました（クロス集計）。そうしたところ、質問それぞれの掛け合わせにおいて、たとえば質問2-1「何のために学ぶのか」と質問2-2「どのような情報を求めているか」とについて、次のような関係性が見られました。



得られた結果については、小山市立生涯学習センターや小山市の生涯学習の推進に必要となる市民ニーズを具体的な方策と併せて今後の事業づくりや講座、交流会などの組み立てにおいて参考とし、活用いたします。

本報では、アンケートの集計や分析の結果をつぎのようまとめました。

- 1 節 集計
- 2 節 データ概観
- 3 節 分析
- 4 節 まとめ

第1節 集計

アンケートのおもて面では生涯学習センターの使い方やそれに伴う感想などを尋ねています。うら面最後のフェイスシートとともに回答者の属性概略を示して関係性をたどることが出来ますが、ここではまず単純集計を見ることとします。

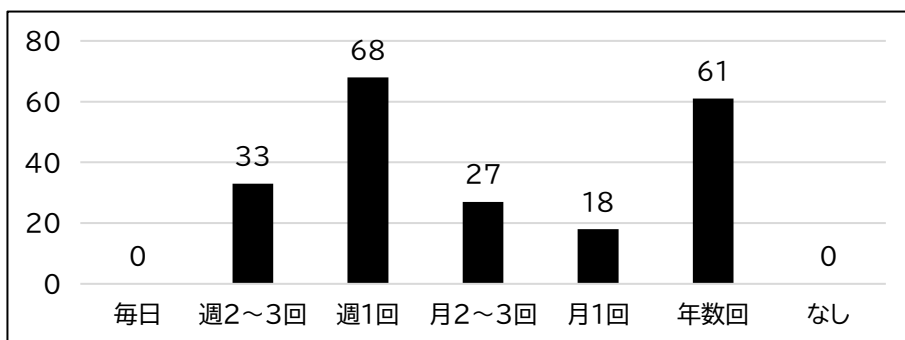
忘れてはならない観点としては、この集計結果は単に回答者の傾向を示しているだけで、小山市立生涯学習センター利用者の全体像や、小山市民全体の傾向を示すものではありません。それを前提として集計結果をたどることとします。

1. 1 おもて面

おもて面は全5問。ここでは主に生涯学習センターの使い方や使い勝手とその感想について質問しています。

問1-1. センター利用の頻度

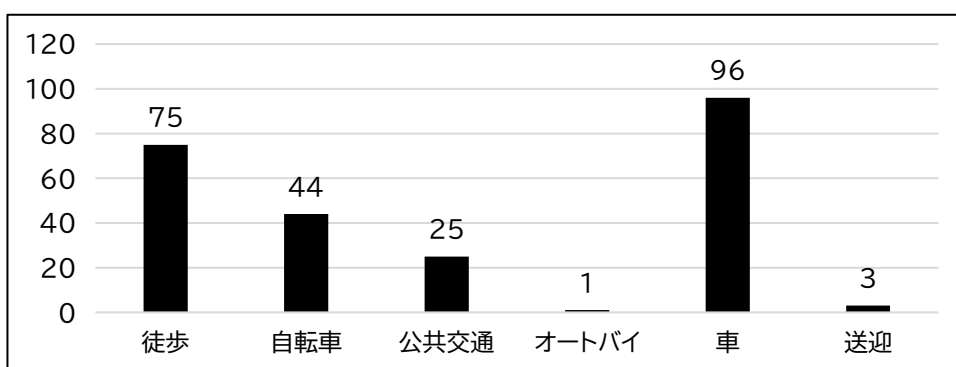
回答した方々のセンターの利用頻度については「3. 週1回の利用を行う人」と、「6. 年数回の利用を行う人」の2つがより多く回答を集めていました。



	個数
毎日	0
週2~3回	33
週1回	68
月2~3回	27
月1回	18
年数回	61
利用したことはない	0

問1-2. センターまでの交通手段

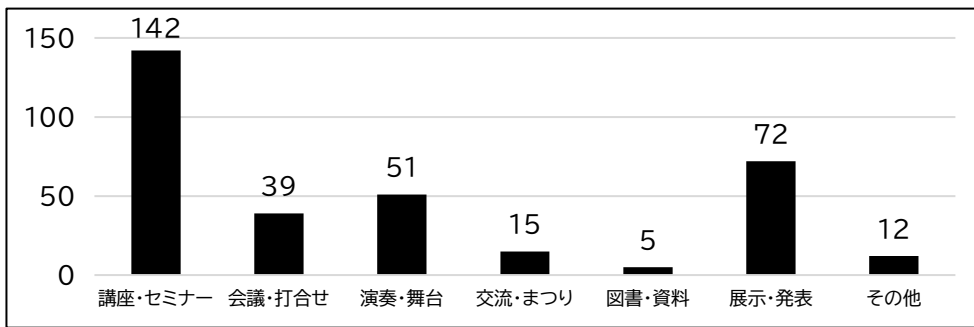
センターまでの交通手段では「自家用車（選択肢では「車」と表記）」の利用者が最も多く、次いで「徒歩」での利用でした。中心市街地にある施設なので「徒歩」につづけて「自転車」「公共交通」も一定の回答を集めています。



	個数
徒歩	75
自転車	44
公共交通	25
オートバイ	1
車	96
送迎	3

問1-3. 参加したことがあるセンターの行事やサービス

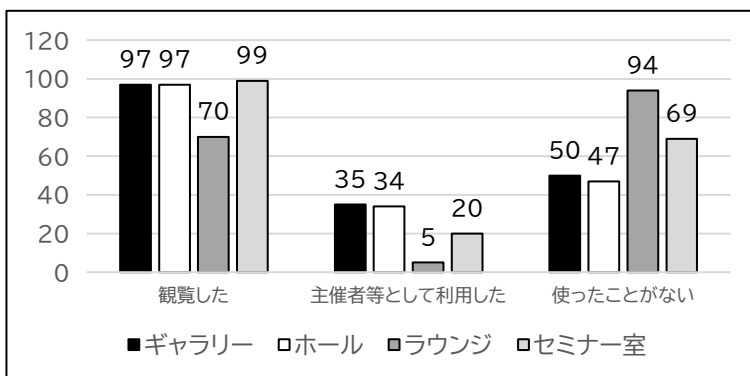
センターでの行事に参加したりサービスを利用したかどうかを問うた回答では「講座・セミナー」が最も多く、次いで「展示・発表」となっていました。また、それらに「演奏・舞台」と「会議・打合せ」が続いています。



	個数
講座・セミナー	142
会議・打合せ	39
演奏・舞台	51
交流・まつり	15
図書・資料	5
展示・発表	72
その他	12

問1-4. 利用の有無と形態

センター内の主要な4設備について、利用の仕方とその感想を問うています。観覧利用（客体としての参加）が多くを占め、主催者としての利用（主体利用）は、その3～5分の1程度で、それぞれの設備を「まだ使ったことがない」という回答も5分の1程度見られました。



	ギャラリー	ホール	ラウンジ	セミナー
観覧した	97	97	70	99
主催者等として	35	34	5	20
使っていない	50	47	94	69

※ラウンジに関しては自由利用なので「観覧した」ではなく「たまに休憩する程度」、「主催者等として利用」に替えて「好んで利用する」の回答を掲載しています。

問1-4-2. 利用の有無と形態

その後、それぞれの設備について「使って気づいた点（あれば）」を尋ねていて、回答概略（件数）は次の通りとなりました。

	ギャラリー	ホール	ラウンジ	セミナー室
よかったこと	4件	6件	5件	5件
悪かったこと	4件 (2)	8件 (3)	4件 (1)	8件 (3)
みんなのための提案	2件	2件	なし	1件
自分のための提案	3件	3件	1件	2件
その他、感想	4件	6件	3件	4件

このうち「悪かったこと」の（ ）内の数字は、料金が低い、照明が暗い、部屋が狭い、の3つの回答の数を示しています。

本回答の全編はp 18に整理していますが、そのうち「みんなのため一般」の提案項目では、次のよう

な趣旨の回答がありました。

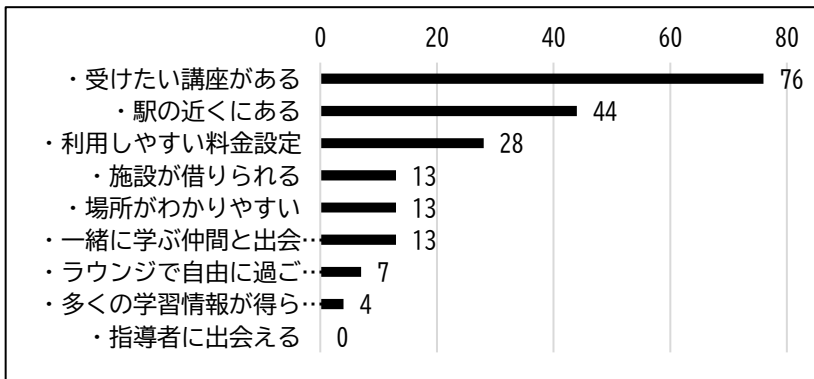
- 若い方が参加しやすい工夫（若手芸術家展やコンサート）を
- 新幹線駅隣接や小部屋が複数ある当施設の特徴を、県外の講師招へいのし易さとしてアピールすべき
- いざとなった時のために避難訓練を拡充すべき
- セミナー室のイスとテーブルの削減（狭さの緩和）

一方、みんなのための提案に対して自分のための提案とも言える「利用上の課題や都合」についての提案項目については、次のような声がありました。

- ヨガ利用のような短時間しか必要としない団体向けの利用枠を設けてほしい
- Wi-Fiを整備してほしい
- 1つの部屋を分割して使える様にしてほしい

問1-5. あなたが感じるセンターの魅力

センターの魅力について尋ねている設問です。「受けたい講座がある」ことが最も多く、「駅の近くである」こと、「料金設定が利用しやすい」が続いています。



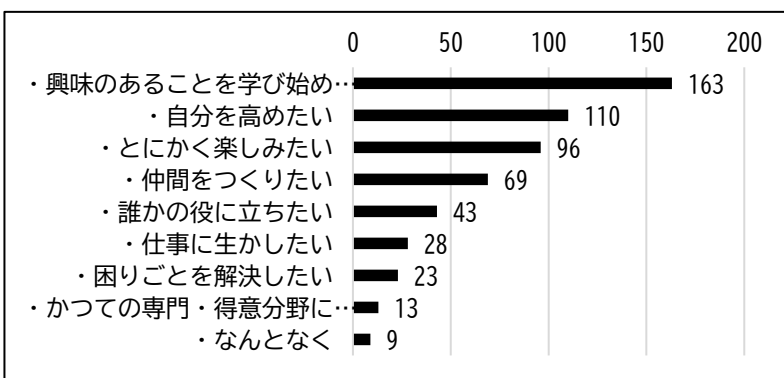
魅力	個数
・受けたい講座がある	76
・駅の近くにある	44
・利用しやすい料金設定	28
・施設が借りられる	13
・場所がわかりやすい	13
・一緒に学ぶ仲間と出会う	13
・ラウンジで自由に過ごす	7
・多くの学習情報が得られる	4
・指導者に会える	0
・無回答	15
・その他	4
合計	217

1.2 うら面

うら面では回答者の「学び」に関する設問が中心となっていて、最後には回答者の属性概略を分類するフェイスシートを4問設けています。

問2-1. あなたが学びたい理由

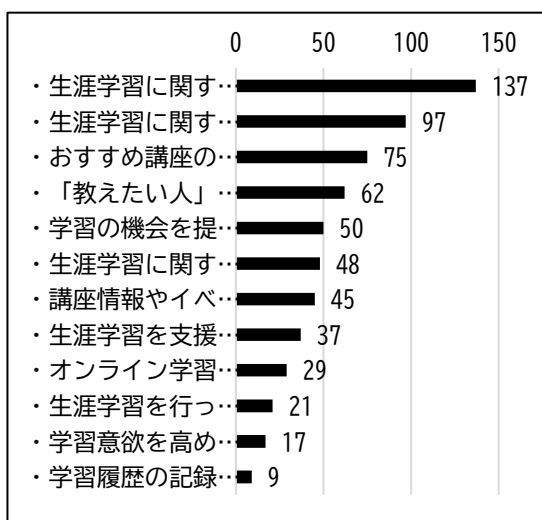
回答者が学びたい理由を尋ねています。「興味のあることを学び始めたい」が一番多く、「自分を高めたい」「とにかく楽しみたい」「仲間をつくりたい」との回答が続きました。



理由	個数
・興味のあることを学び始めたい	163
・自分を高めたい	110
・とにかく楽しみたい	96
・仲間をつくりたい	69
・誰かの役に立ちたい	43
・仕事に生かしたい	28
・困りごとを解決したい	23
・かつての専門・得意分野について学びなおしたい	13
・なんとなく	9
・無回答	28
・その他	6
合計	588

問2-2. センターで充実してほしい情報

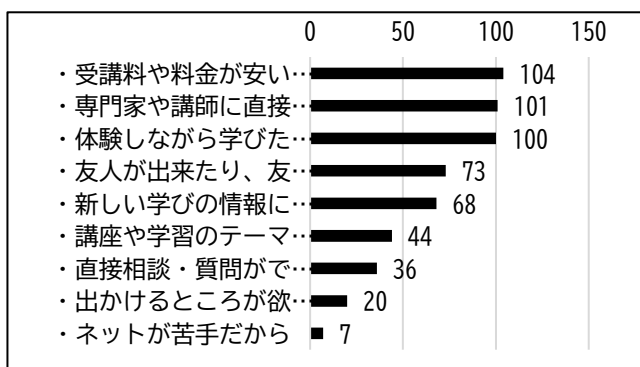
センターで充実してほしい情報については、それぞれ「生涯学習に関する講座の情報」「同・イベントの情報」が2大回答となり、次いで「おすすめ講座のお知らせ機能」や、「教えたい人と教わりたい人とのマッチング」等がつづきました。



	個数
・生涯学習に関する講座の情報	137
・生涯学習に関するイベントの情報	97
・おすすめ講座のお知らせ機能	75
・「教えたい人」と「学びたい人」のマッチング機能	62
・学習の機会を提供している施設の情報	50
・生涯学習に関する団体・グループの情報	48
・講座情報やイベント情報の検索機能	45
・生涯学習を支援する指導者の情報	37
・オンライン学習コンテンツの提供	29
・生涯学習を行っている人の体験談	21
・学習意欲を高めるためのキャンペーン・プレゼント等	17
・学習履歴の記録機能	9
・その他	7
・特になし	11
・無回答	34
合計	679

問2-3. 生涯学習施設に来て学ぶ理由

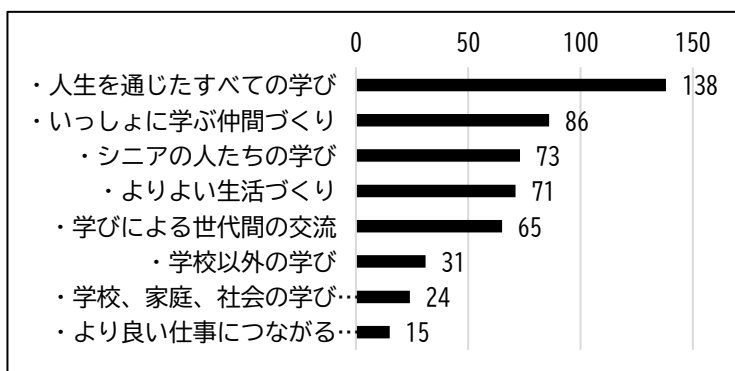
センター（等）で学ぶ理由としては「受講料や料金が安い」「体験しながら学びたい」「専門家や講師に気軽に話ができる」が上位に来ていました。



	個数
・受講料や料金が安いから	104
・専門家や講師に直接話を聞いて学べるから	101
・体験しながら学びたいから	100
・友人が出来たり、友達に会えるから	73
・新しい学びの情報に触れられるから	68
・講座や学習のテーマや難易度がちょうど良いから	44
・直接相談・質問ができるから	36
・出かけるところが欲しいから	20
・ネットが苦手だから	7
・無回答	0
・その他	0
合計	553

問2-4. 「生涯学習」という言葉についてあなたが抱くイメージ

「人生を通じたすべての学び」やそのきっかけとなる「いっしょに学ぶ仲間づくり」の選択肢に回答が集まっていました。



	個数
・人生を通じたすべての学び	138
・いっしょに学ぶ仲間づくり	86
・シニアの人たちの学び	73
・よりよい生活づくり	71
・学びによる世代間の交流	65
・学校以外の学び	31
・学校、家庭、社会の学びの集大成	24
・より良い仕事につながる学び	15
・無回答	0
・その他	0
合計	503

問2-5 「センター利用で気に入っているところ（好きなこと、もの）」

現在のセンターに関して「気に入っている点」について尋ねたところ、次のような回答傾向が見られました。（詳細はp19）

種類	回答数
便利（近くて便利を含む）	19件
手軽な料金	6件
気軽に参加できる	8件
職員が親切	10件
清潔	2件
交流、出会い	3件
ヨガ・ストレッチ講座が受けられる	6件
かつて魅力があった	1件
意見（苦情ほか）	7件

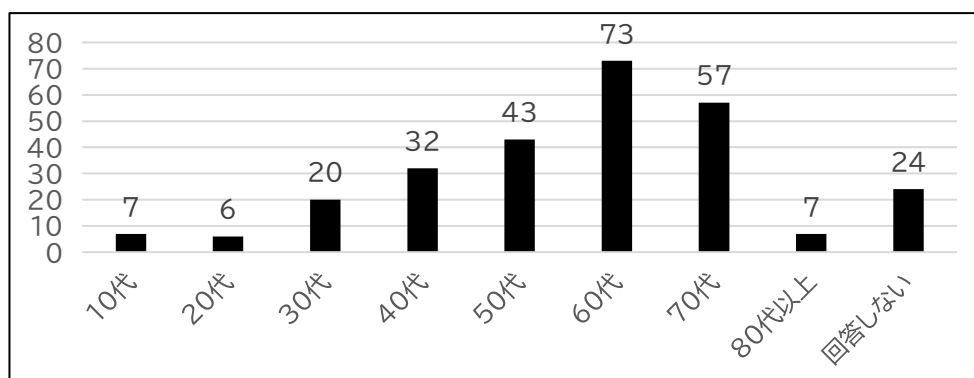
問2-6 「小山市の生涯学習への期待」

さらに「小山市の生涯学習への取り組みに関する期待」について自由回答を求めています。この回答数の概要は次の通りです。（詳細はp20の質問2-6の回答全編をご覧ください）

生涯学習について	在り方や提案	24件
	広報・啓発	4件
生涯学習センターについて	センターの在り方	20件
	センターの広報	4件
	センターの料金	5件
	貸館業務の在り方	2件
	講座	29件
	講座の在り方	4件
	駐車場	16件
その他	7件	

意見や提案のなかには、「マニアックな学びの場が欲しい」や、一方で「リラックスできる場があるのが良い」「悩みがある人の癒しの場になるような場所」などの回答が寄せられていました。立場や置かれた状況によって様々なアイデアが書かれていました。

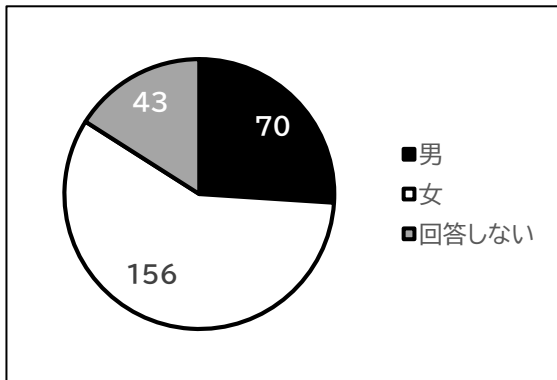
以下の設問はフェイスシートです。回答者の中では60代が最も多く、続いて70代、50台と分布していました。80代の方も7人がこのアンケートに回答していました。



年齢	個数
10代	7
20代	6
30代	20
40代	32
50代	43
60代	73
70代	57
80代以上	7
回答しない	24
合計	269

男女別の回答者数

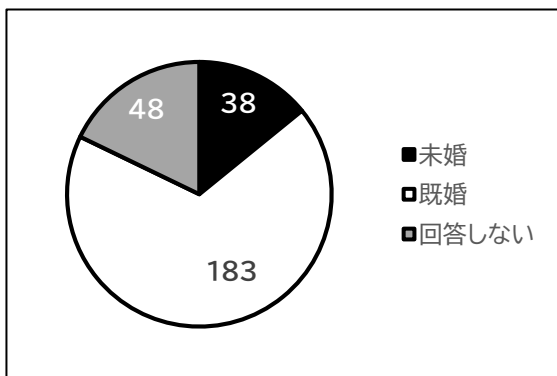
男女の別について回答のない方が2割近くいましたが、回答した方の中での男女比はおよそ1対2ほど、となっていました。



性別	性別
男	70
女	156
回答しない	43
合計	269

未婚者と既婚者の別

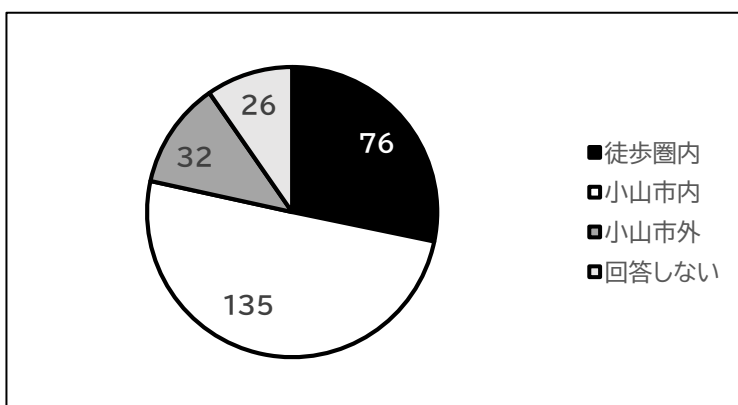
未婚者と既婚者の別について、その比率は1対4となっていました。



ご家族	未婚か既婚か
未婚	38
既婚	183
回答しない	48
合計	269

市内（市外）のどこにお住まいか

センター近隣（徒歩圏内）の方を含めて、全体の4分の3以上の方が小山市在住でした。その小山市在住の方のうちでは、2対3で徒歩圏内とそれ以外、となっていました。



お住まい	お住まい
徒歩圏内	76
小山市内	135
小山市外	32
回答しない	26
合計	269

1. 3 まとめ

以上の回答結果の集計により、回答者やおおむねのセンター利用者の傾向を知ることが出来ました。そこからみられた回答者像は、次の通りです。

来館頻度でみて「毎週来る人」と「年数回来る人」とが回答者の2本柱となっていたこと、「徒歩で来る」と「車で来る」とが来場者の2大移動手段であること（次いで自転車）、そして「講座・セミナー」と「展示・発表」が、回答者の方々の2大行動目的でした。

来館頻度	毎週来る人
	年数回来る人
来館手段	徒歩で来る
	車で来る
来館目的	講座・セミナー
	展示・発表

回答者の傾向概略の上位2群

また回答者の方々は、ギャラリーやホール、セミナー室を観覧者（主催者ではない一般参加者）として多く使っていました。

さらに、問1-5にあるセンターの魅力への回答は、「受けたい講座がある」が総回答の3分の1と多数ありました。また、うら面に行き、問2-1の学びたい理由についても「興味のあることを学び始めたい」が同様に総回答の3分の1と多数ありました。

センターで充実してほしい情報は「講座の情報」と「イベントの情報」が上位を占めていました。さらに生涯学習施設に来て学ぶ理由は「受講料が安いから」「専門家や講師に直接学べるから」「体験しながら学びたいから」が上位を占めていました。

センターの魅力	受けたい講座がある
学びたい理由	興味のあることを学び始めたい
充実してほしい情報	講座の情報、イベントの情報
施設に来て学ぶ理由	受講料が安い 専門家や講師に直接学べる 体験しながら学びたい

回答者の学びやセンター利用の動機上位

生涯学習のイメージは「人生を通じたすべての学び」という回答が多く、ついで「いっしょに学ぶ仲間づくり」「シニアの人たちの学び」が続きました。

回答者は60代、70代を中心に、10代から80代までの各年代にわたって分布していて、男女比はおおよそ1対2となっていました。

年代層	60代、70代を中心にした分布
男女比	男性1：女性2
未婚・既婚	未婚1：既婚4

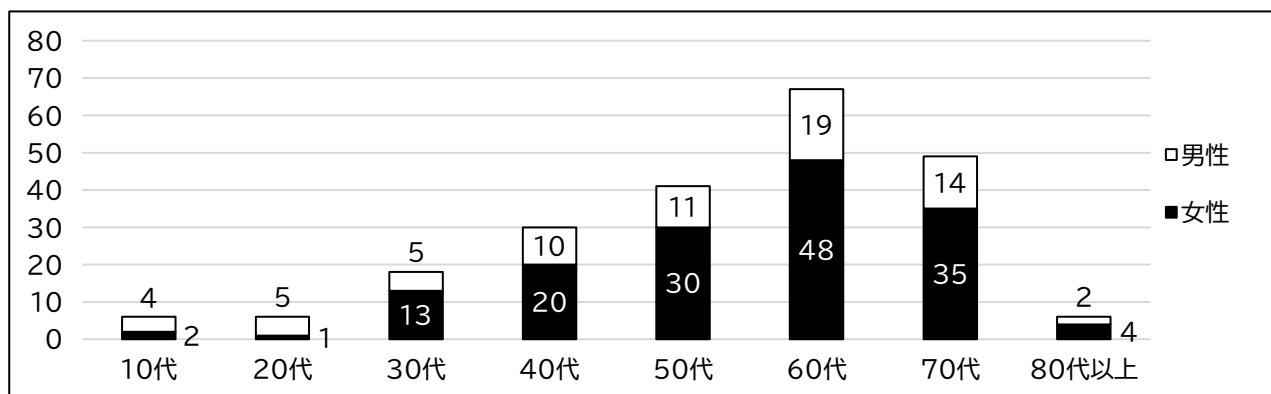
回答者の個人属性の傾向

第2節 データ概観

第1節では単純集計をしました。このことで回答者全体のおよその傾向を知ることが出来ました。次に、回答者の属性や選択肢の選び具合（選好といいます）を少し細かく見ていきます。

回答者の年代×男女

回答者の年代別の回答に男女比を添えてみました。具体的には「男女別」の回答に「年代」を掛け合わせたものです。結果は次のグラフの通りで、全体にわたって男性が少ない状況です。（ただし本節、次節では「回答しない」を含めていません）

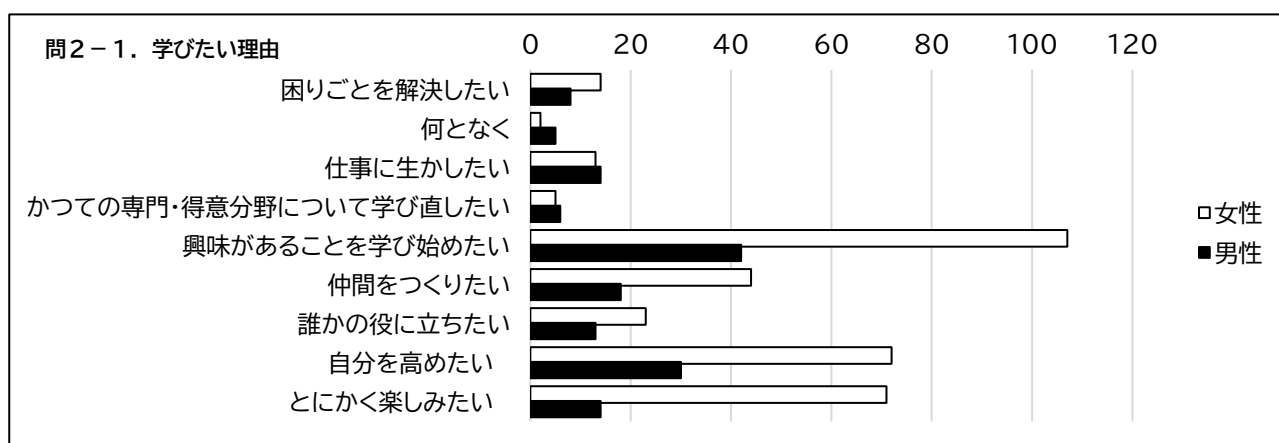


（年代別の無回答者、男女別の無回答者がそれぞれいるため合計数は1節のグラフと一致しません）

「学びたい理由」×男女

この状況を前提にしたうえで、問2-1の回答に同じように男女別を掛け合わせてみました。男女差が大きいものとしては、「とにかく楽しみたい」「仲間をつくりたい」「興味があることを学び始めたい」などが見られます。

なお、もう一つの注意点として単純集計の分別ですので、もともと男女比で回答数が約2倍多い女性の回答が自然と目に付くことに留意してください。

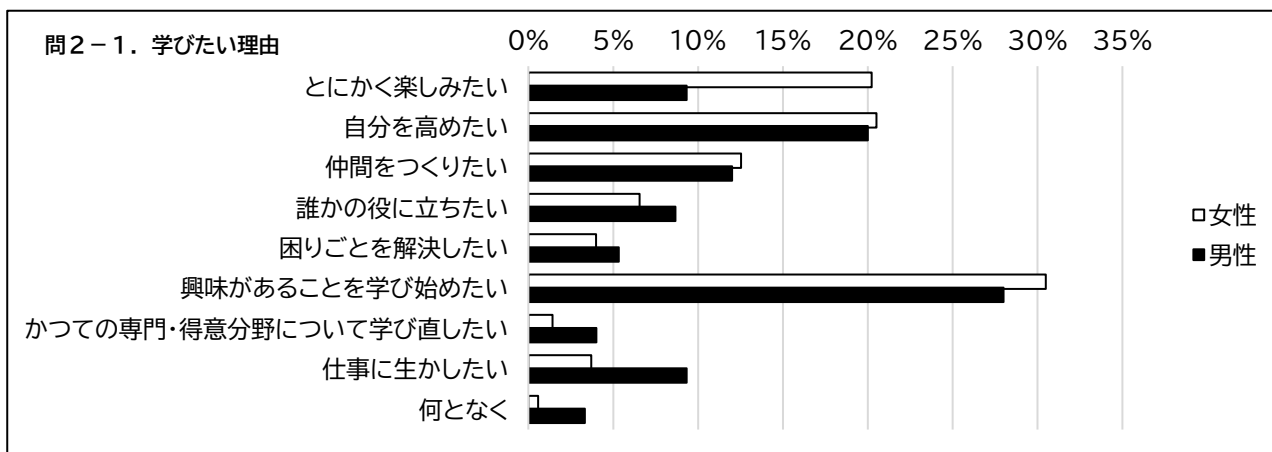


以上、ここでは単純集計とその下での回答の掛け合わせを見てみました。第3節では本節での回答傾向を考慮した集計結果をもとにさらに掛け合わせを行い、回答者にとっての生涯学習センターの利用意向や生涯学習への受け止め方を、もう少し詳しく見てみます。

第3節 分析

前節では、ある回答に対する属性の違いの掛け合わせをもとに、一つの回答の中に含まれる複数の属性の分布について簡単に見てみました。その中で注意点として挙げたのが属性に分けた際の回答数の大小による比較結果の大小への影響でした。そこで、回答の数ではなく同じカテゴリー（男性は男性、女性は女性）の回答内での「割合」で求めることで、影響を抑えることができます。

前節の最初のグラフを男女別に回答を選んだ率で示したのが次のグラフです。

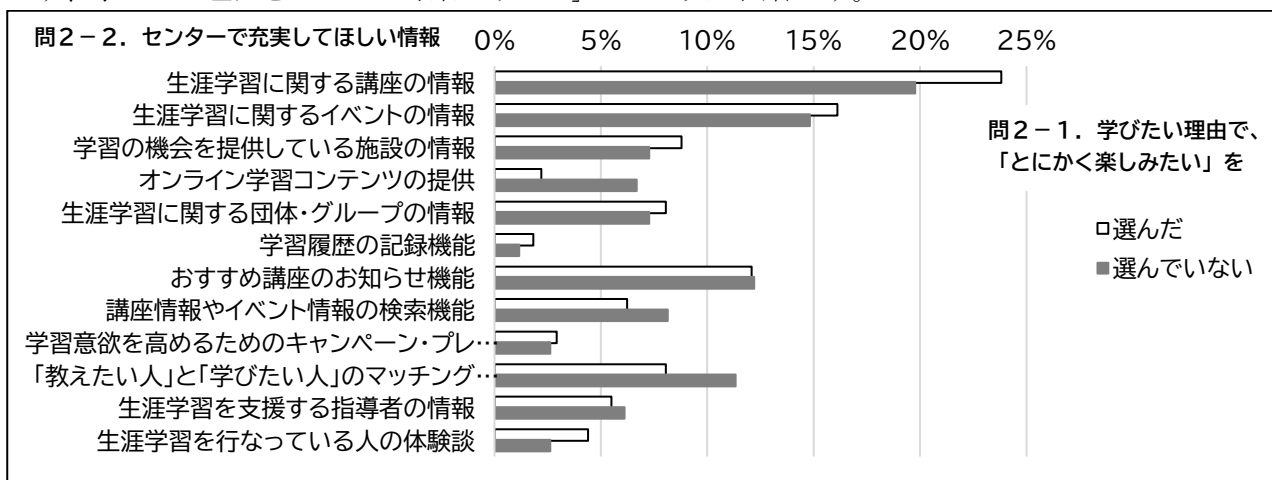


回答者のうち、男性が「仕事に生かしたい」、女性が「とにかく楽しみたい」という視点で学びを意味づけているのが、よりはっきりわかります。また、自分を高めたい、仲間をつくりたい、興味があることを学び始めたい、との回答に、それほど選好率（選ぶ度合い）の違いがないこともわかります。

「学びたい理由」×「充実してほしい情報」

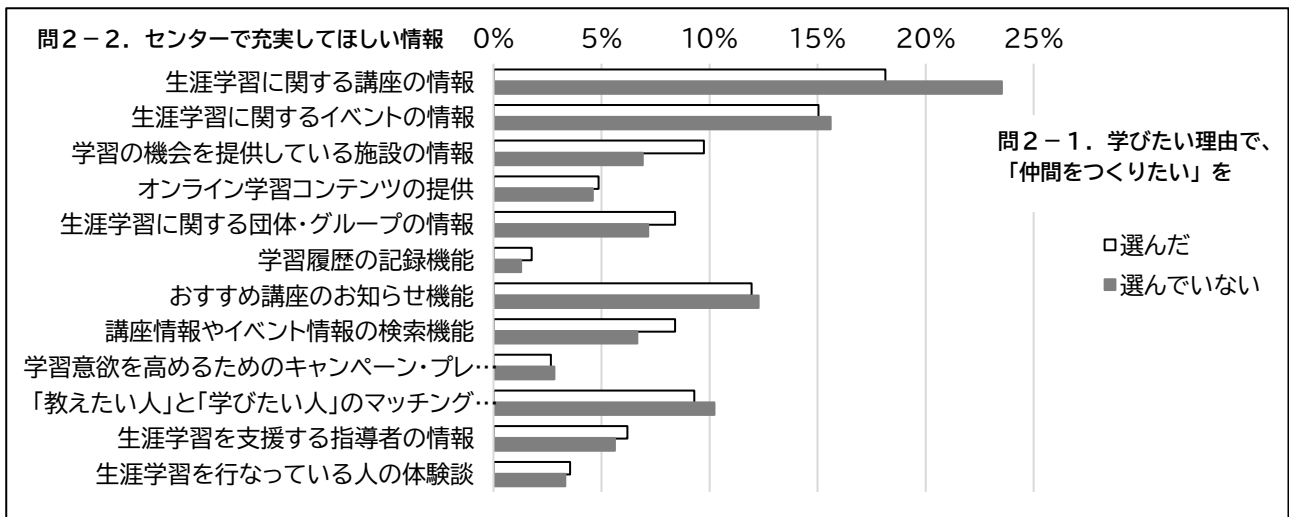
つぎに、問2-2の「センターで充実してほしい情報」を、問2-1の「学びたい理由」で選んだ回答ごとに選り分けて、その回答者の選好状況を見てみます。

まず、学びたい理由を「とにかく楽しみたい」とした人の回答です。



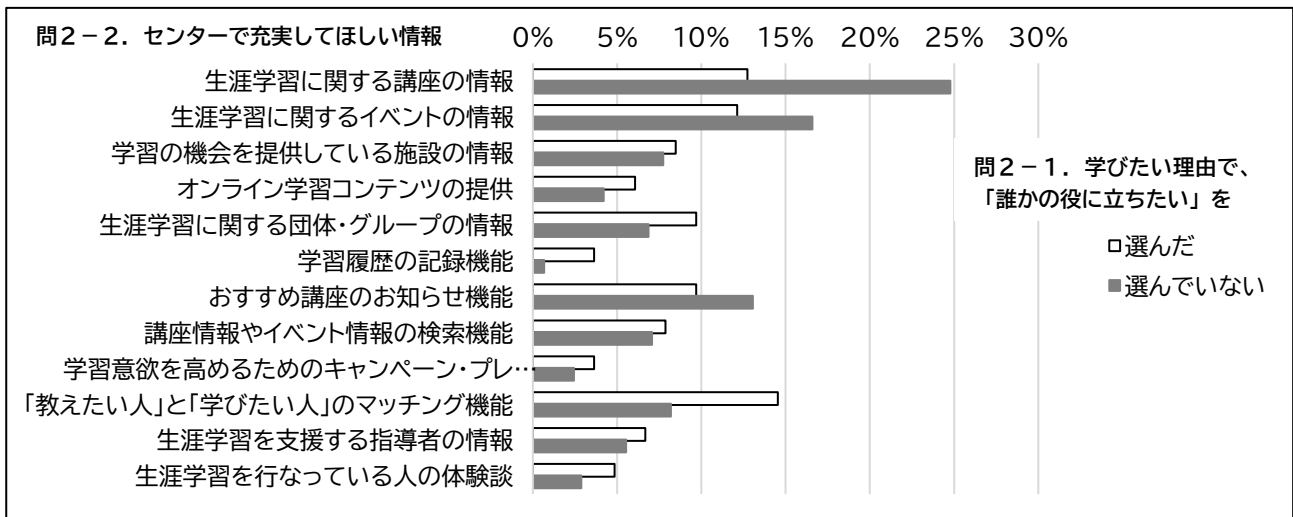
生涯学習に関する講座の情報、イベントの情報、施設の情報、グループの情報を、より多く選んでいるようです。

次に、同じく学びに求める事柄を「仲間をつくりたい」とした人の回答です。



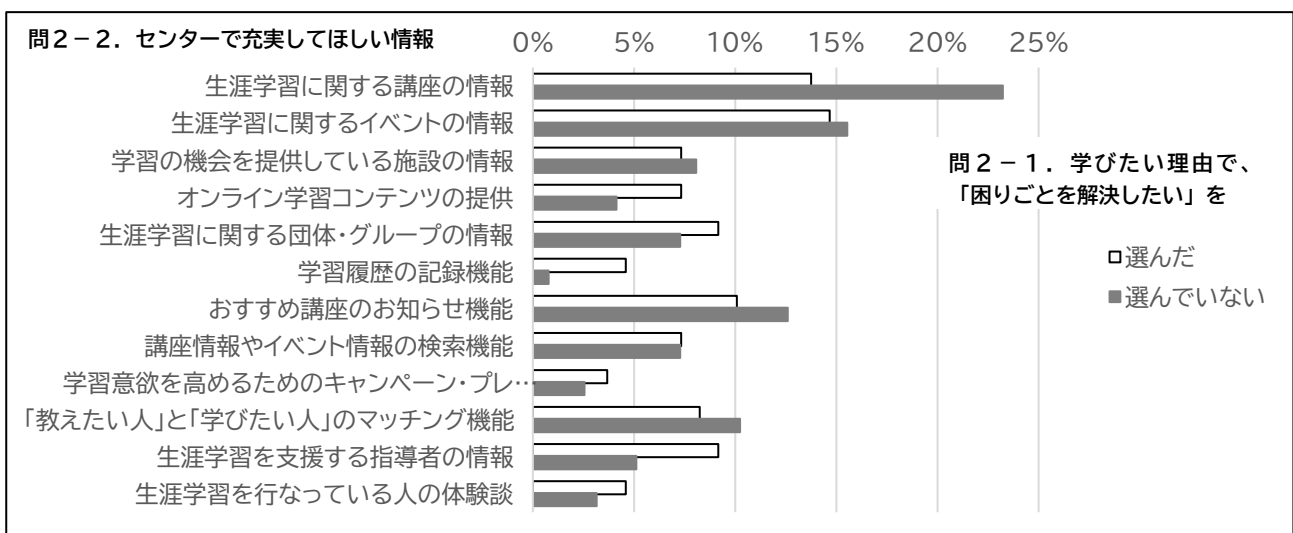
比較すると、講座情報やイベント情報の検索機能や、学習機会を提供している施設の情報の情報、学習グループの情報を求めています。

次に、「誰かの役に立ちたい」とした人の回答です。



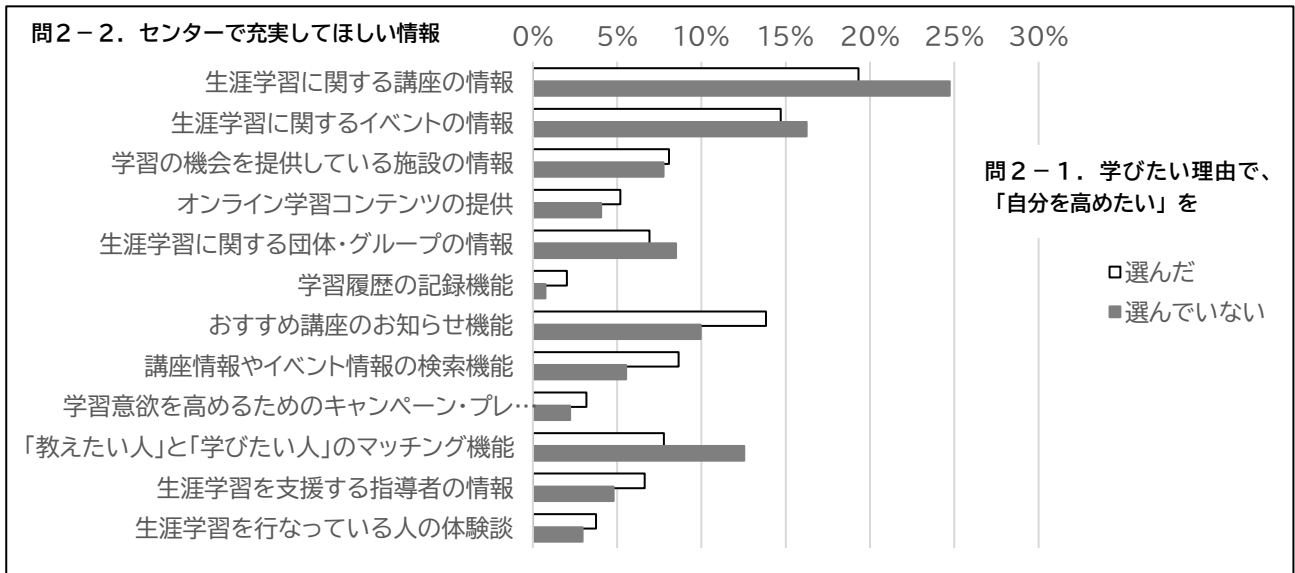
教えたい人と学びたい人のマッチング機能、生涯学習グループの情報、オンライン学習コンテンツ、そして学習者の体験談を求めている割合が高く出ました。

さらに、「困りごとを解決したい」とした人の回答です。



「学習履歴の記録機能」と「生涯学習を支援する指導者の情報」を選好する割合が高く、次いで「オンライン学習コンテンツの提供」、さらに「生涯学習を行っている人の体験談」、「生涯学習グループ等の情報」と続きました。

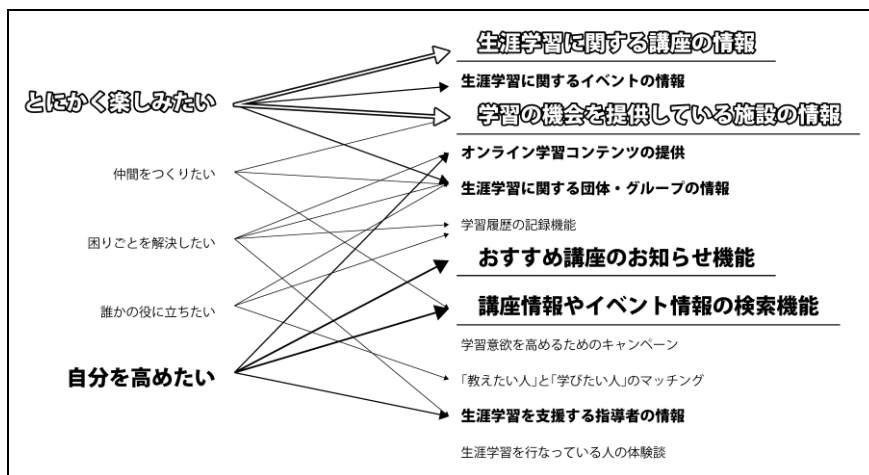
5つ目は、「自分を高めたい」とした人の回答傾向です。



「おすすめ講座のお知らせ機能」をより多く選好していて、また講座情報、イベント情報の検索機能にも回答が集まっています。ほかには学習履歴の記録機能や指導者の情報にも回答が集まっています。半面、マッチングに対する選好の割合は低く、こうしたことから回答者が自分に合った講座を自分で選び、また自分でそうした体験や活動を管理しようとする姿が浮かびます。

「自分を高めたい」人と「とにかく楽しみたい」人の比較

以上のように、たとえば問2-1の「学びたい理由」(左側)において、「自分を高めたい」人の回答と「とにかく楽しみたい」人の回答を並べてみて、問2-2の「センターで充実してほしい情報」(右側)のどこに回答が集中しているかを観測すると、回答数の差をもとにした関係性が見えてきます。



(左：問2-1「学びたい理由」 右：問2-2「センターで充実してほしい情報」)

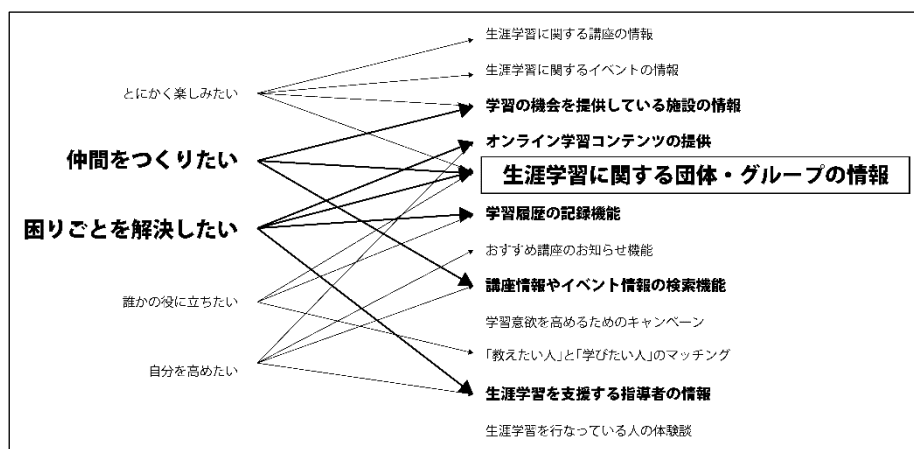
「自分を高めたい」人に着目すると、講座情報のお知らせを受けたり、自分自身で情報検索したりしていました。同じように「とにかく楽しみたい」人は、講座情報全般や施設情報全般を求めています。

ひとつの質問票への回答として「講座情報を知りたい」と望んでいても、背景となる意識によって講座情報の望み方（質や講座情報の集め方など）は多様で、属性ごとに選好する意義に違いがあることがわかりました。

「生涯学習に関する団体・グループの情報」に関する気づき

クロス集計をもとにした別の読み取りについて、もう少し述べます。

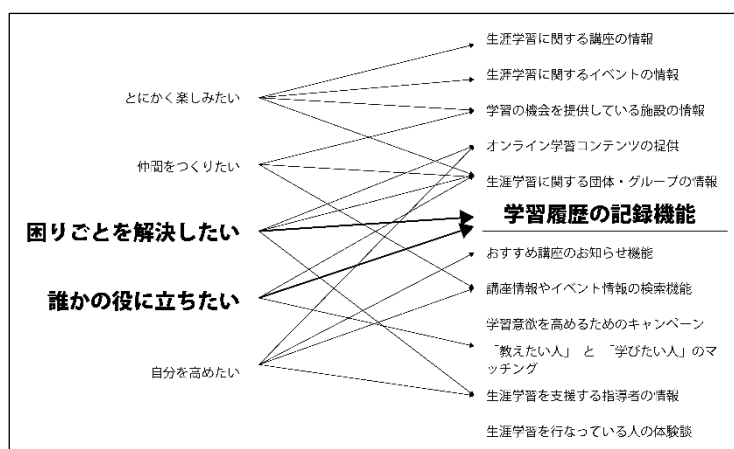
「仲間をつくりたい」という回答をした人と、「困りごとを解決したい」という回答をした人との間では共通項があまり感じられないのですが、ともに「生涯学習に関する団体・グループの情報」を選んでいました。



(左：問2-1「学びたい理由」 右：問2-2「センターで充実してほしい情報」)

「学習履歴の記録機能」に関する気づき

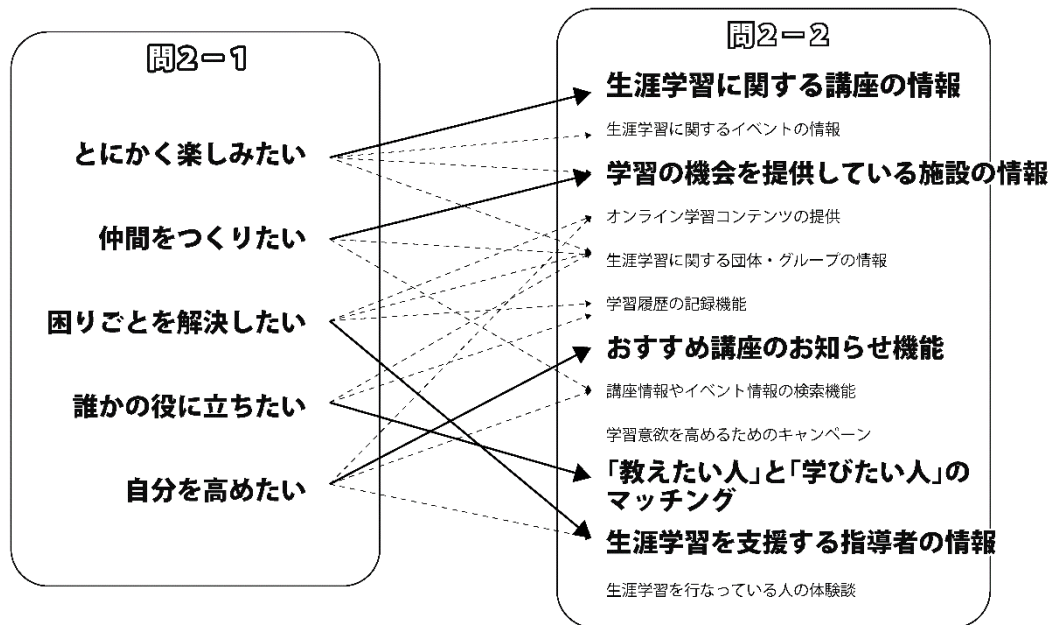
問2-2において「学習履歴の記録機能」を選好した人たちは決して多くなく、12項目中、12番目になっていました。しかしながら、問2-1で「困りごとを解決したい」もしくは「誰かの役に立ちたい」を選んだ人だけに絞れば、その多くが本回答を選好していて、他との開きが際立ちました。



(左：問2-1「学びたい理由」 右：問2-2「センターで充実してほしい情報」)

まとめ

本節では問2-1「何のために学ぶのか」と問2-2「どのような情報を求めているか」との掛け合わせを概観しただけですが、いくつかの回答の集中による具体的な傾向に気づきました。



(左：問2-1「学びたい理由」 右：問2-2「センターで充実してほしい情報」)

その結果、回答の選び方には回答者それぞれの背景があり、様々な関係性が理解できました。

第4節. まとめ

今回の市民アンケートは、1か月間で269人の回答が得られ、おおむねの傾向を把握することが出来ました。

1節でみてきた通り、回答者全体の傾向からおおよその市民全体の意識の傾向を推し量ることが出来、また2節で解釈したとおり、そのデータの内実を丁寧にみることで偏りの具体的な状況を知ることが出来ました。しかしながら市の人口からみると全体の0.16%にとどまっていることから、市民ニーズのさらなる抽出のためには今後も幅広い年齢層や多くの市民の声を聴くことが必要であると考えられます。

そのうえで、3節でみてきたように小山市立生涯学習センターの在り方や小山市の生涯学習の推進において、その市民ニーズについて具体的な形で得られる可能性を見いだすことも出来ました。

調査を踏まえて小山市民の生涯学習ニーズの一端を知見として得ることが出来たことで、また、得られた市民の声については、今後の事業づくりや講座、交流会などの構想やその具体化の作業の中で、大いに参考にしてまいります。

今後も事業づくりや計画づくりのなかで「市民の声を聴く機会」を設けて様々な声を受け止め、事業づくりに生かしてまいります。

資料編

自由記述の回答全文

- 問1-4 館内ギャラリーやホールなどの施設を「使って気づいた点」について、教えてください。（「良い事」でも「悪い事」でも構いません）
- 問2-5 日ごろ、センターを利用されている方で「気に入っているところ（好きなこと・もの）」はありますか？
- 問2-6 最後に、今後の小山市の生涯学習活動に関する取り組みに対して、期待することやご提案がありましたら、自由にお書きください。

調査に使用したアンケート票

おもて面

うら面

問1-4：館内のギャラリーやホールなどの施設を「使って気づいた点」について、教えてください。（「良い事」でも「悪い事」でも構いません）

	ギャラリー	ホール	ラウンジ	セミナー室	
よかったこと	<ul style="list-style-type: none"> ●オープンな空間なので開放的。利用しやすかった。 ●買い物に来たときに習字の展示会を見ました。家族で買い物を楽しむことと展示を見ることが同時にできて良かったと思います。 ●静かで落ち着いていて良いと思った。 ●ちょうどいい広さだった 	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニコンサートを観覧しましたが、こじんまりしていて良い感じでした。 ●近くで演奏を聴けるので、いい。 ●大き目のセミナーなどをやるには良い。音響施設が充実している。 ●各種イベントで活用できそうに感じた。 ●席が近いのでよく見えるし、臨場感があってよい。 ●冷暖房完備で使いやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ●いつも綺麗に掃除ができていますね ●ゆっくり休憩する事ができる ●休憩できるスペースがあるのはよいと思います。 ●静かで落ち着いていて良いと思った。 ●講座に参加した際、ラウンジのイベントの案内チラシをいただき、行ってみたいイベントに出会えた。 ●学生にも良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●和室を使用しましたが、綺麗な部屋でした。 ●コンパクトな空間だが窓もあり良い。小さめのセミナーや研修にはちょうど良い。 ●窓があって良いと思った。 ●清潔な感じで明るい ●広くて良いと思った 	
悪かったこと	<ul style="list-style-type: none"> ●すぐ見終わるので満足度低めです ●ヨガ講座に参加した時、土足のきたないところにマットをしいた…気持ち悪かった 	<ul style="list-style-type: none"> ●10月でしたが、エアコン効き過ぎでした。 ●柱が邪魔 ●奥行きを感じられない印象でした ●換気の悪さ ●せまい、音がよく聞こえない 	<ul style="list-style-type: none"> ●古ぼけている ●常連の人が、凶々しい感じがした ●椅子(ソファが使いづらい) 	<ul style="list-style-type: none"> ●オシャレ感がないです。 ●老朽化した壁やカーテンという感じです。 ●閉鎖的な感じがするので ●物置？ ●二方向の出入口が充分でなく、学びの部屋としては狭いし使いにくい感じがした。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●料金が安い ●料金が安い 	<ul style="list-style-type: none"> ●暗い ●料金が安い ●料金が安い 	<ul style="list-style-type: none"> ●暗い 	<ul style="list-style-type: none"> ●料金が、高い ●せまくるしい ●狭いと思う。 	
提案	みんなのため一般	<ul style="list-style-type: none"> ●書道展等、高齢層が対象のものが多い印象。高齢層の方は、来ることが習慣になっている部分もあるので、小山市や小山市周辺の若手芸術家に場所を提供する等、今までに来ていない層の流れを作る必要があるように感じる。 ●避難経路の案内はありますが、その先に入ったことがないので、もし火災などの際、ドアを開けた後、どこにどう逃げたらいいのかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ギャラリーと同様(=高齢層が対象のものが多い印象。高齢層の方は、来ることが習慣になっている部分もあるので、小山市や小山市周辺の若手に場所を提供する等、今までに来ていない層の流れを作る必要があるように感じる) ●もう少し広さがあり、収容人数を増やせればと思う。ステージの高さ、広さに一考を。 		<ul style="list-style-type: none"> ●机、いす少しへらすとちょうどよいと思う
	利用上の課題や都合	<ul style="list-style-type: none"> ●ヨガサークルとして活用した場合、時間割当てが約3.5時間と長く実際は1.5H程度しか利用していない。テニスの様に2時間ごとに利用が出来れば他のサークル等で1日利用回数が増えるのでは。 ●絨毯の更新がされると良い ●ホールのような、準備室や休憩室があるとよい 	<ul style="list-style-type: none"> ●ステージ袖に仕切りがあるとよい ●観覧としては手狭 ●ホールで開催されたセミナーと百人一首大会に参加したことがあります。講師が県外の方でしたが新幹線利用で便利だと話されていました。小部屋もあるので人数に合わせて使用しやすいと感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●工夫を強く希望します。テーブル・イスの清潔さや使いやすさ(学生さんだけでなく) 	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設なのにWifiなどインターネットへ接続できない ●1つの部屋をパーティションで2分割した。パーティションの設置は、容易ではなかったので、センター側でしていただけないか？(撤収も)
感想、その他	<ul style="list-style-type: none"> ●ギャラリーって何処？ ●目立たなかった。 ●センター主催の講座に参加 ●もっと展示会等があってもいいのかなぁと思います。せっかくの施設なので！ 	<ul style="list-style-type: none"> ●小さめだが、使いやすいように感じる ●広くないのでアットホーム感がある ●良かったと思う ●程良い集客数 ●ヨガ教室の参加 ●童謡 	<ul style="list-style-type: none"> ●ラウンジがあること自体知りませんでした。 ●コロナが収まればより使いやすいと思う。 ●静かでよい 	<ul style="list-style-type: none"> ●主催者の気遣いで変わると思う ●ハローワークのセミナーが開催されているので必要 ●可もなく不可もなし ●かなり前です。忘れました。 	

問2-5：日ごろ、センターを利用されている方で「気に入っているところ（好きなこと・もの）」はありますか？

便利	立地面：家から近く、帰りに買物ができる
	ソフト面：清掃もよく行われているように思う。スタッフの態度も良いのでは？
	ハード面：古さは仕方ないが
	場所が近く、広い
	飲料の自動販売機がある
	駅近くに住んでいるので行いやすい。
	すぐに行けて、煩わしさが無い。自由。
	近いので使い易い
	とにかく立地が良い。茨城方面、宇都宮方面、栃木方面の真ん中で。駅近、安く借りられるのは大きな魅力。
	近くに食料品販売店・その他販売店があり、日々の買い物もできる 帰りに買い物ができる。
手軽な料金	安価である！近い！
	安い料金で利用できること
	手軽な価格で利用できること
	駅の近くで利用しやすい。受講料が安い
	低コストで講座がうけることができる
	講座の料金設定がありがたい
気軽に参加できる	講座を学習センターで開催していただいている事に感謝です。コロナ時に自主事業でと言われ、大変苦労したので実感！！です。
	他県から情報
	気兼ねなくできること
	貸し会議室として会場
	友人づくり
	何年か前より利用しております
近くて便利	ホール座席がフリーに変更できること
	講座内容と駅からすぐのところ
	家から通うのに近い
	家から近い
	家から近い
	家からあるいは駅から近い
	駅に近く便利
	楽しく学べる場所が近くにあり、ありがたく思っております
	駅に近いので便利であり、料金もリーズナブル スタッフの方も親切で感じが良いところ
受け付け、カウンターの対応がとても良いと思います。	
職員	職員の対応が良い。
	とても良い場所で良い事務員の方達です
	スタッフの方々の雰囲気が良い。
	センターの職員の方が親切でよく面倒をみてくれます。
	スタッフの笑顔、接し方でやるきになる。
	職員の方々の対応に好感が持てます
	第一にスタッフの方々の対応がとても親切です。
	職員の方々がわかりやすく説明して下さる
	スタッフの方々の接し方が、丁寧で親切です。
清潔	清掃がゆきとどいている
	清潔感があること。ゴミ一つ落ちていないのですばらしいと思います
交流、出会い	自分の興味にマッチングした事、仲間と出会えた
	魅力的な講師の先生に充実した内容の講座を受けられ、またそこを通じて気軽に交流できる友人ができたことは自分にとって宝物です
	センターで顔を合わせているだけなのに皆さんニコニコあいさつをかわしてくれるので楽しい時間が過ごせるのが嬉しいですね
ヨガ・ストレッチ講座が受けられる	いまは満遍なくいろいろな人に公平にという考え方なのですがここ2年近くは抽選にて講座を進めており運動がこのさき出来るのかどうか不安定でした生涯運動をしたいとおもっておりましたので抽選に外れてしまわないか不安でした。今後、安定して学べるようになることを祈ります
	体操教室などの講座を続けていて健康の維持に役立っている。現状維持していただきたい。
	受講料が安く、専門のインストラクターや講師から学べる。スポーツジムのようにレッスンを受ける為に時間前から並ぶ必要がないのがうれしい。
	ヨガ講座、体作り、体改善のできるもの
	ヨガ講座がシニアでも無理なく出来る事。
	センターに歩いて行ける。ストレッチを学ぶことができる 体力のおとろえを守る

かつて魅力があった	以前より(来ることが)少なくなりました、発表会のようなものに参加したことはあります。楽しかったですが、他の人との交流はありませんでした。
意見(苦情ほか)	広報で募集されている内容が毎回同様で目新しさが無い。興味がわからない。もっとアンテナ高くして講座とかを企画してほしい。生涯学習の殿堂として。
	駐車料金がネック
	施設そのものが、他の施設との差異が解りにくい。ゆめまち、おやまー等重複している施設がある。
	生涯学習であれば、ホールやギャラリーは文化センターで行うべきでは。施設の目的が解らない。また、セミナー室等を企業が利用しているが、目的にそぐわないのではないか。
	学生が勉強できるような机があってもよいと思う。
	特に無し
	駐車場利用時の料金割引

問2-6：最後に、今後の小山市の生涯学習活動に関する取り組みに対して、期待することやご提案などありましたら、自由にお書きください。

在り方、提案	生涯を通しての学びがゆくゆくは地域へ還元されることを理想とするならば、親子2世代3世代で参加できる(子どもが地域や将来を意識するための)講師をもうけるのもよいと思います。
	織田信長が行った楽市楽座のようなイベント変人奇人普通天才異人何でもありの学習場所
	ポイント制度を導入し、たまったポイントを講座の費用や市の特産品の購入に充てることができるなど、他の市町村と一線を画するような取り組みがあると楽しそう。
	ペットタウンの印象が強くなっているなかで、地元が小山の方とそうでない方が、小山市という共通点からどのようにつながっていくのかは課題に感じている。生涯学習センターという拠点を最大限に活用した交流はそのような課題の解決していく上で重要なピースの一つであるように感じられるため、有効に活用していきたい。
	日頃、認知症の父を介護する母を休ませるため、父と二人でちょっと出かけたいけど、共有できる場所がありません。例えば、父は合唱を聞くのが好きなので、合唱を聞いたり、一緒に歌い踊れるような、老老親子で周囲を気にせず、安心して楽しめる場所があったら嬉しいですね。
	勝手ですがシニアにも参加しやすい、そしてリラックスできる環境も期待しています。いろいろお世話になっています！！ありがとうございます。
	もっとどのような事をしているのか知りたい。知らないと学ぶ事に繋がらないため。
	シニアのため、初心者のため、といった難易度低い講座だけではなく、より深く学びたい大人や学生向けのハイレベルでマニアックな内容の学び場があると良いです。無料お試し講座やイベントに期待します。
	スポーツだけでなく、医療や子供の情操教育に役立つような様々な楽器を体験できる講座も欲しい。スポーツと芸術の脳の領域に近いのは既知の状況で人間が成長する両輪となるように考える
	さまざまな世代が足を運び交流でき営みや生きがいにつながるものを期待しています
	老人が家にとじこもる事のないよう外に出て体を動かしたり、人と話ができるようにしたい
	悩みがある人のいやしの場になるような場所
	世代間交流ができる取り組み
	趣味つながりのマッチング
	若者が対面で交流できるコミュニティを積極的ににつくってほしい
	社会的弱者の声なき声をいかに集められるか。他にに安心の子育ての環境作りなどこれからの社会不安を支えるセーフティネット作りのための発信をする。またはプラットフォーム作り。
	生きがいづくりに役立てる。
	身体を動かし健康でいたいひとがますますおおくなるのでは？安心して続けられる場所をお願いします
	学習する場であってほしいと
	外に出てリズムを作ることがうれしい
市民や市民以外でも交流の場であってほしい。	
意見を聞いて反映して欲しいです	
高れい者に向けて認知症、介護予防に向けての活動	
学ぶ事も大事だが、円滑なコミュニケーションをとれる場の提供も必要と考えます	
広報	生涯学習自体縁遠いよくわからないものになっている。そこをどう市民に浸透させて行くかが何より課題と考える。
	情報発信の方法を幅広く行ってほしい
	取り組み、行事等のPRをもっと積極的にしてほしい。情報が少ない。
生涯学習センターの在り方	『生涯学習』も分かりやすいのですがネーミングをもっと柔らかい感じにして欲しいです。お堅いイメージで高齢の方が行くところという感じです。近寄りたいたいです。
	生涯学習センターで何をやっているのか自体わからないので、残念。
	そして、同じ人、高齢者ばかりという印象があり入りにくい。
	子育て世代や、もっと常連ではない人が安心して気を使わずに参加できるようにして欲しい。
	暇な退職された男性が多いと、しつこい、くだらない話しになる等、嫌気がさす。

生涯学習センターの在り方 (続き)	コンサート等をもっと開催して欲しい
	急に新しくというより、今までの利用の継続
	wifi が使えるようにしてほしい
	学習の為の図書館が他に比べて貧弱すぎるので企業から寄付を募って改築してほしい
	生涯学習法から外れたことはおかしいと思うが、生涯学習法の目指すところが解りにくい。市民や近隣住民を利用者とするべき所、市民サービスに関係のない企業や団体が利用しているのはなぜか。
	自由に使えるようにしてほしい
	施設利用申請等の簡略さ。
	決まり事が多い
	貸し会議室として
	講座や、セミナーをオンライン予約できるようになって欲しい。欲を言えば支払いもオンラインで出来たらいい。
	市立図書館の本を生涯学習センターで返却できるようにしてほしい。
	気軽に参加できる環境づくり
	がんばってほしい
	気軽に参加できる環境づくり
	・避難経路を明確にして欲しい
生涯学習センターは駅近で電車利用者には便利だが、以前のセミナーの参加者で電車利用者は一人もいませんでした。市内在住者で障害	
(生涯学習センターの) 広報	さまざまな取組みをされていると思いますが、私は一度も利用したことがないので生涯学習センターのことをよくわかりません。PR に力を入れてみては？
	以前はロブレに買物の時に立ち寄る事も多かったのですが、今は行くことがありません。何をやっているのか情報を頂ければ足が向くと思います。
	何をしている場所なのか理解していない人も多いでしょうし、市が積極的にアピールする事。
	生涯学習センターで何をやっているか、さらに小山広報などで PR して知らせたい
(生涯学習センターの) 料金	公民館などは、会場予約がひと月ごとなど、毎月手続きに行くのが大変ですが、センターさんは年間予約ができるので、是非継続していただきたいです。が、会場費は公民館などより高いと思われます。できれば公民館などと同等に、ご検討いただきたいです。
	利用しやすい料金設定で続けていただけたらこれからも長く続けたいと思います
	年金受給者なので安い料で学べる機会を得たい。
	施設利用料を安くしてもらいたい
貸館業務の在り方	学びたい気持ちはありますが、内容に興味がひかれなく受講していません。学習室などグループでかりようと思いましたが公民館に比べ高いです。
	単なる貸し館だけでなく他の公民館と同じで職員がやることでなく委託した方がいいと思います 貸館業務がメインなら特に市職員を配置しなくても外部委託で十分です。
講座	マンネリ化を防ぐ努力をすることが必要
	単発での講座で友人知人をつくることは不可能
	働く世代がスキルアップしていけるような講座があると良いと思います。
	土日にも講座が受講できると嬉しいです
	これからもずっと続けて下さい。
	このまま続けてほしい。働いている方がやさしく気持ち良く来られる
	このまま継続してほしい
	今のままでよいと思いました。
	ぜひ続けていただきたいです
	単発の講座、短期間の(入門)講座など、広く開いてほしい。
	人気の講座については、継続・新規を増やすなどでできればよいのでは
	体を動かす事ができるダンス(ソシアル以外)など
	ヨガ講座を継続したいです
	家から歩いて行けて安価でストレッチを学ぶことができる場所を続けてほしい。月に2回の学習でも良い。
	高齢者の健康維持のために、これからもこの様な講座をつづけて頂きたい
	新たな講座を増やして欲しい
	趣味の講座などもっと増やして欲しい。
	若い人向けの講座や資格取得などのセミナーをやってほしい
	資格が取れたり、学校的な存在だと嬉しい。シニア大学的な。
	子ども会育成会に関する講座や公助・共助のあり方の勉強会など
今迄通り色々な講座を続けて下さい	
講座内容の充実	

	講座の偏りが見受けられる
	講座は受講者の自主事業ではなく、学習センターでやっていただけると嬉しい！！
	リーズナブルな講座を増やしてほしい
	もっと講座の種類を充実してほしい
	セミナー、講座、演奏会などを今後も継続していただきたい。
	オンラインも時に
	短期でやめないで継続出来るようにしてほしい
講座の在り方	高齢化に伴い、こういった場所と講座は必要です。サークルとしての活動だと取りまとめる人の負担が大きくなる人がいない…その結果実行できなくなるのが不安です。
	オンライン、単発の参加しやすい講座(急に出られない、予定を立てられない等でも、思い立って参加できると有り難いです。(開催側は大変だと思いますが)駐車料金の割引があれば、もっと利用者は増えるのでは…？
	自分も含め、今まで利用したことのない人達、これから仕事をする世代、現在仕事をしている世代→稼がなければいけない世代中心に学べる施設として、イベントや講座等開催していただくと嬉しいです。
	広報を見たが、講座の内容がシニア専用？と思ってしまう。若者や働く人達が行きたいと思ったり、役に立つ講座を期待したい。夜間の講座もあるとありがたい。学びたい気持ちを持つ人はたくさんいると思う。
駐車場	皆さん車か自転車でしたが、車だと1時間のセミナーで前後の時間を入れると、駐車場代が500円かかります。城南出張所や中央公民館な等なら駐車場代は不要なので、そういった場所に移した方が良く考えられます。
	「以前から現在地を利用している」ではなく、利用者の交通手段をしっかり調査し(参加者の調査は簡単なはず)適切な場所に移動すべきと提案します。
	・駐車場を無料にしてほしい
	車の駐車料金が高すぎる。他は無料です。せめて生涯学習センターを利用している人達は安く、又は無料にしてほしい
	現在も文化センターや各公民館等で様々な講座やサークルが活動していますが、利用者のニーズに寄り添った運営が必要かと感じます。生涯学習センターを現在の場所で今後も活用していくとすれば、駐車場への運転や料金のことを考えれば利用が難しい方も多くいらっしゃると思います。また、これまでは買い物もできるという楽しみも期待できましたが、現在の状況ではそれが難しいので人がどれだけ集まるかということも考えなければなりません。駅に隣接しているという利点が生かされると良いと思います。
	遠隔地の人が通える交通環境
	参加時間帯の無料駐車場など
	講座に参加の際、車で来ています。
	他の店舗では、駐車場の無料スタンプ割引があるのに、センターの利用の時は必ず有料になってしまいます。是非無料スタンプ、時間割引をお願いしたいです。
	駐車場代金が高い
	駐車場を安くかりて下さい
	駐車場の無料化
	駐車場と施設の料金について安く
	時間が長くなると駐車場代が高くなり負担が増える！
	講座は短期ではなく長期でお願いします
	ロブレ駐車場を無料で使用したい
その他	今後ともよろしくお願いします
	もっといろいろ出来るとよい
	特になし。今後ともよろしくお願いします
	市役所職員よりも民間のサービスに期待します
	広報に掲載された複数の講座の申し込み日時がまったく同じなので、電話がつながりにくいです。ここに書くべきじゃないのかもしれませんが、書く欄が見つかりません。質問の内容も偏っている気がしました。
	性別既婚未婚を聞くのはおかしい
	正直以前学習センターの人に質問したことがあったが、あまりにも冷たい対応でがっかりしました。

小山市立生涯学習センター ご利用の状況と期待に関するアンケート

このアンケートは
オンラインによる
回答も可能です。
ご利用ください。



小山市では、小山市立生涯学習センター（以下「センター」）のより良い運営に向け、利用に関するアンケート調査を行うことになりました。
今後、より便利なセンターとなるよう、またセンターの魅力を知ってもらい活用のきっかけを提供したい、との思いでアンケートを構成しました。率直な回答をお寄せいただければ幸いです。

担当課 小山市教育委員会 TEL 0285-22-9665
生涯学習課生涯学習係 FAX 0285-22-9650
(FAXでも回答いただけます)

小山市立生涯学習センターについて

小山市立生涯学習センターは、生涯学習活動をはじめ様々な市民活動を通じて市民相互の交流を促進するとともに、地域づくりに寄与する施設として平成6年6月に設立されました。

- ・所在地 小山市中央町3丁目7-1 ロブレ6階(専有面積1832.15㎡)
- ・開館時間 午前9時～午後9時30分(年末年始休館)
- ・施設概要 事務室、ラウンジ、ギャラリー、セミナー室、和室、託児室兼資料室

1. あなたの小山市立生涯学習センターの利用状況についてお伺いします

① センターを日頃どのような頻度で利用されていますか？（一つだけ○をつけてください）

1. 毎日 2. 週に2～3回 3. 週1回 4. 月に2～3回 5. 月1回 6. 年数回 7. 利用したことがない

② センターまで、どのように出かけますか？（いくつでも）

1. 徒歩 2. 自転車 3. おーバスや電車 4. オートバイ 5. 車 6. 送迎

うら面の回答へ
お進みください

③ センターの行事や施設のうち、利用や参加をしたことがあるものはどれですか？（いくつでも）

1. 講座・セミナー 2. 会議・打合せ 3. 演奏・舞台
4. 交流・まつり 5. 図書・資料 6. 展示・発表
7. その他()

④ 館内のギャラリーやホールなどの施設を「使ったことがあるかどうか」と「使って気づいた点」について、教えてください。（「良い事」でも「悪い事」でも構いません）

	使ったことがあるかどうか	使って気づいた点(あれば)
ギャラリー	1. 観覧した 2. 主催者等として利用した 3. 使ったことがない	
ホール	1. 観覧した 2. 主催者等として利用した 3. 使ったことがない	
ラウンジ	1. たまに休憩する程度 2. 好んで利用する 3. 使ったことがない	
セミナー室	1. 参加者として入室した 2. 主催者等として利用した 3. 使ったことがない	

⑤ あなたが感じるセンターの魅力について、該当するものはどれですか？（一つだけ○をつけてください）

1. 受けたい講座がある 2. ラウンジで自由に過ごせる 3. 利用しやすい料金設定
4. 駅の近くにある 5. 施設が借りられる 6. 場所がわかりやすい
7. 一緒に学ぶ仲間と出会える 8. 多くの学習情報が得られる 9. 指導者に会える
10. その他()

裏面にも回答をお願いします▶

